UNIT
06 부모님과의 관계 : 親との関係

아이스브레이킹 ウォームアップ

Q1 子供の頃、どんなことでよく親に怒られましたか？

子供の頃、親に注意されるとすぐに口答えして、余計に怒られていました。

어릴 때 부모님이 주의를 주시면 바로 말대꾸해서 괜히 더 혼나곤 했어요.

Q2 親によく言われる小言はありますか？

母は今でも私の恋愛や結婚のことにいちいち口を出してきます。

엄마는 지금도 제 연애나 결혼 문제에 일일이 참견하세요.

토론 질문 ディスカッション

Q3 見た目と性格では、どちらのほうが親に似ていますか？

顔は父にそっくりですが、性格は母に似ていると思います。

얼굴은 아빠랑 판박이지만 성격은 엄마를 닮았다고 생각해요.

Q4 子供の頃、親と一緒に過ごした中で、特に思い出に残ってることありますか？

家族で行った初めての海外旅行が一番思い出に残っています。

가족과 함께 갔던 첫 해외여행이 가장 추억에 남아 있어요.

Q5 親の性格で、どんなところは見習いたいと思い、
どんなところは似たくないと思いますか？

母の優しいところは見習いたいですが、短気なところは似たくないです。

엄마의 다정한 점은 본받고 싶지만, 성격이 급한 점은 닮고 싶지 않아요.

Q6 子供の頃は理解できなかったけれど、今なら理解できる親の行動はありますか？

昔は母を口うるさいと思っていましたが、後になって私を心配していたと分かりました。

예전에는 엄마가 잔소리가 심하다고 생각했지만, 나중에서야 나를 걱정하고 있었다는 걸 알게 됐어요.

Q7 親がしてくれたことで、今でも覚えていることはありますか？

就職活動がうまくいかなかったとき、両親がずっと支えてくれたことを覚えています。

취업 준비가 잘 풀리지 않았을 때 부모님이 계속 힘이 되어주셨던 게 기억나요.

Q8 将来、どんな親になりたいですか？
（すでに親になっている方は、どんな親でありたいですか？）

子供が失敗しても怒らず、いつでも子供の味方になれる親になりたいです。

아이가 실패해도 혼내지 않고, 언제나 아이의 편이 되어줄 수 있는 부모가 되고 싶어요.

UNIT
06 음주운전 면허 취소자, 평생 재취득을 금지해야 할까?

1 本文

物流会社で働いていたケン（42歳）は、5年前に飲酒運転で事故を起こした。車にはねられた大学生は足に怪我を負い、1年間にわたって治療を受けた。現在は回復しているものの、車が近くを通ると、今でも不安を感じる。ケンは免許取消と拘禁刑1年・執行猶予3年の判決を受けた。免許の欠格期間が過ぎた今年、彼は再び免許を取ろうとしている。この5年間、酒は一滴も飲んでいない。被害者の母親は「息子は事故の後、しばらく普通の生活さえ送れなかったのに、加害者はまたハンドルを握ってもいいのでしょうか」と訴える。一方、元上司は「彼には養う子どもが2人いる。罪を償った人がやり直せない社会でいいのか」と話す。ケン自身も「運転したい。でも、また誰かを傷つけたらどうしようと考え、眠れない夜もある」と打ち明ける。飲酒運転によって免許を取り消された人は、生涯にわたって再取得を禁止すべきか。刑罰を受け終えた人には、再び免許を取得する機会を与えるべきなのか。あなたはどちらを支持しますか。

今日の表現

表現 取消 취소 / 拘禁刑 구금형 / 執行猶予 집행유예 / 欠格 결격 /
ハンドルを握る 운전대를 잡다 / 訴える 호소하다 / 罪を償う 죗값을 치르다 / 打ち明ける 털어놓다

2 二つの立場

〈立場 A〉 한 번이라도 면허가 취소되면 평생 재취득을 금지해야 한다

- 運転することは権利ではなく、国が与える資格です。
- 韓国では、飲酒運転の再犯率が40%を超えます。
- 飲酒運転は、偶然起きた事故ではなく、本人が自ら選択した行為です。
- 例外を認めれば、「一度くらいなら」と考える人が増えます。

〈立場 B〉 법적 처벌을 모두 마쳤다면 다시 취득할 수 있게 해야 한다

- 刑を終えた後でも免許の再取得を生涯禁止するのは、二重処罰に近いです。
- 日本では、ひき逃げをした場合でも欠格期間は最長10年です。
- 犯罪に対する処罰と運転資格は別の問題なので、
  処罰を終えたなら、再び運転資格を得る機会を与えるべきです。
- 誰にでも更生する可能性があり、一度の過ちで一生やり直す機会を奪うべきではありません。

私の立場 ☐ 立場 A ☐ 立場 B ※中立は選べません

3 ディベート

1R 最初の主張

→ 全員 1回。時計回り。理由は三つまで。

- [ ] 私は○○の立場です。理由は三つあります。まず〜、次に〜
- [ ] これは〜という前提に基づいています。

2R 指名して反論

→ 全員1回。「○○さんに反論します」と言って反論を始める。終わったら隣の人に順番を渡す。

- [ ] たしかに〜ですが、それは〜を前提とした話ではありませんか。
- [ ] その主張は、〜という点を軽視しています。
- [ ] 実際には、〜する場合も少なくありません。
- [ ] そもそも「〜」の定義が違うのではありませんか。

3R 反論に答える

→ 反論された人のみ。パスできない。

- [ ] その指摘は当たりません。なぜなら〜
- [ ] たしかにその点は認めます。ただ〜
- [ ] 今の反論は、私が言っていないことへの反論です。

4 ゆさぶり質問

→ 多数派に先に使う。

1 — 立場 A と言った人へ

あなたが前の晩に飲んだ酒が抜けきらないまま、翌朝の通勤時に車を運転し、基準値をわずかに超えたために運転免許を取り消されたとします。事故は起こしていません。それでも、自分が一生運転できなくなるのは当然だと言えますか。

2 — 立場 A と言った人へ

あなたの父親が飲酒運転で運転免許を取り消されたとします。あなたの住んでいる村は病院まで車で40分、バスは1日に2本しかありません。母親を週に3回病院へ連れて行けるのは、父親だけです。それでも、免許の再取得を生涯禁止すべきでしょうか。

3 — 立場 B と言った人へ

あなたの子どもが通う小学校のスクールバスを、過去に飲酒運転で人を死亡させた運転手が毎朝運転しているとします。その運転手は、法律上、運転することを認められており、何の問題もありません。それでも、安心して子どもをバスに乗せられますか。

4 — 立場 B と言った人へ

あなたの娘をはねて車いす生活にした加害者が、5年後に免許を取り直し、毎朝あなたの家の前をトラックで通るとします。娘は今でもその音を聞くたびに震えます。それでも「罪を償った人には、やり直す権利がある」と言えますか。

5 最終質問

- [ ] 立場 A　[ ] 立場 B　[ ] 変わった　[ ] 変わらなかった
- [ ] 最初は〜と思っていましたが、○○さんの指摘で考えが変わりました。
- [ ] 立場は変わりませんでしたが、理由が変わりました。
- [ ] 今まで〜という点を考えていませんでした。

6 使える語彙

2Rの「その主張は〜という点を軽視しています」の〜に入れる材料です。

❶ 立場Aが使う語彙。

繰り返す	반복하다
踏みにじる	짓밟다
未然に	미연에
一線を越える	넘지 말아야 할 선을 넘다
厳罰を科す	엄벌을 내리다
引き起こす	일으키다, 초래하다

❷ 立場Bが使う語彙。

更生	갱생
見極める	확실하게 판단하다
条件付きで	조건부로
二重に罰する	이중으로 처벌하다
奪う	빼앗다
緩和する	완화하다

1R メモ

自分の立場・理由三つ・根拠とした前提

2R メモ

誰に反論するか・相手が軽視した点・自分の反論